

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

日印交流年

インド映画の輝き

Japan-India Friendship Year 2007:

Indian Film Festival

10月9日(火) - 11月16日(金)

11月の休館日:

月曜日、11月26日(月) - 12月3日(月)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

発券=2階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



日印交流年

インド映画の輝き

Japan-India Friendship Year 2007: Indian Film Festival



indiajapan
2007



2007
11

NFCカレンダー
2007年11月号

大ホール 上映作品

日印交流年
インド映画の輝き
Japan-India Friendship Year
2007: Indian Film Festival

多言語・多民族の社会と文化を土台としながら、近年は著しい経済発展の面でも注目されているインドは、一方で世界最大の映画大国としても広く知られています。現在、映画産業の中心地ムンバイ(旧ボンベイ)の映画界は“ボリウッド”と呼ばれるほどの隆盛を極め、その作品は世界各国に輸出されていますが、インドはその遙か前から、それぞれの地方で個性豊かな映画文化を紡ぎ上げてきました。

不世出の“映画王”ラージ・カプールや伝説的な名監督グル・ダットに端を発し現在も国内映画産業の中核をなすムンバイ産のヒンディー語映画、世界的な巨匠サタジット・レイを輩出した東部のベンガル語映画、G・アラヴィンダラン監督作品の醸し出す悠然としたリズムが日本の映画ファンにも支持された南西部ケララ州のマラヤーラム語映画、きらびやかな娯楽性と強烈な民族性が共存する南部のタミル語映画など、各地の映画人たちが競い合うように多面的な映画史を形作ってきました。また、歌や踊りを取り入れた娯楽作や華麗なスター映画はもちろん、悲痛なラブ・ストーリー、民衆生活に寄り添った作品、硬質な社会派作品など、テーマや作風の多様さにおいてもインド映画の魅力は尽きることがありません。

2007年「日印交流年」の記念事業として、この実り豊かなインド映画の歴史の中から、1980年代までに製作された名作32本を一挙上映する今回の企画は、フィルムセンターにおけるインド映画の上映としては過去最大の規模となります。歴史の中でさまざまな光彩を放ってきた、インド映画の万華鏡のような魅力をお楽しみください。

- 監督 原 脚 脚 色 撮影 美術 音楽 出演
 - 本特集で上映するプリントには全て日本語字幕が付いていますが、一部に不備のあることをあらかじめご了承ください。
 - 記載した上映分数は、当日のものとは多少異なることがあります。
 - 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 作品解説＝松岡環
● 写真提供＝びあ(株)

◆ サタジット・レイ小特集

1 10/9(火)3:00pm 10/27(土)11:00am

大地のうた

(125分・35mm・白黒・ベンガル語)
PATHER PANCHALI (SONG OF THE ROAD)

S・レイ監督のデビュー作。ベンガル地方の農村に暮らす貧しいブラーミン(最高位カースト)一家の少年、オプーを取り巻く世界を描く。『大河のうた』『大樹のうた』と共に『オプー三部作』と呼ばれ、インド映画の存在を世界に知らしめた作品である。カンヌ国際映画祭人間ドキュメント賞受賞。

'55 監督 サタジット・レイ 原 脚 ビティパシオン・ボンドパッダエ 撮影 シュプロト・ミットロ 音楽 バンシ・チャンドラグプタ 出演 ラヴィ・シャンカル シュビル・バナナジ、カヌ・バナナジ、コルナ・バナナジ

2 10/9(火)7:00pm 10/27(土)4:00pm

大河のうた

(109分・35mm・白黒・ベンガル語)
APARAJITO (THE UNVANQUISHED)

オプーの姉ドゥルガを病気で失った一家は、ヒンドゥー教の聖地パナラス(パナレス)へと移り住む。父が亡くなり、さらなる貧困生活の中で母とも離れ、少年から青年へと成長する多感な時代のオプーが描かれる。ヴェネチア国際映画祭金獅子賞を受賞。

'56 監督 サタジット・レイ 原 脚 ビティパシオン・ボンドパッダエ 撮影 シュプロト・ミットロ 音楽 バンシ・チャンドラグプタ 出演 ラヴィ・シャンカル シュビル・バナナジ、カヌ・バナナジ、コルナ・バナナジ

3 10/10(水)3:00pm 10/30(火)7:00pm

遠い道 (48分・35mm・カラー・ヒンディー語)
SADGATI (DELIVERANCE)

インド近代文学の父ブレイムチャンドのヒンディー語小説『済度の道』の映画化。僧侶にこき使われた被差別カーストの農民が急死したことから、僧侶がその遺体を始末しなければならなくなる。ヒンディー語芸術映画の名優たちを使って、カースト制度の矛盾を描く。

'81 監督 サタジット・レイ 原 脚 ブレイムチャンド 撮影 ショウメンドゥ・ラエ 出演 オショク・ボース オーム・プリ、スミター・パーティール、モハン・アール・ガージェー

音楽ホール (99分・35mm・白黒・ベンガル語)
JALSAGHAR (THE MUSIC ROOM)

邸内の音楽ホールにインド古典音楽や舞踊の名手を招き、パトロンとしてその芸術を愛する地主。だが、旧地主階級はもはや没落の途で、新興成金の商人階級と張り合ううちに身を滅ぼす。実際の名歌手や舞踊手を出演させ、20年代の新旧富裕層交代を鮮やかに見せる。

'58 監督 サタジット・レイ 原 脚 タラシオン・コル 撮影 ボンドパッダエ 撮影 シュプロト・ミットロ 音楽 バンシ・チャンドラグプタ 出演 ラヴィ・シャンカル 出演 ショウミットロ・チャタルジ、シャルミラ・タゴール、オロク・チョクロホルティ、ショボン・ムカルジ

4 10/10(水)7:00pm 10/28(日)11:00am

大樹のうた

(106分・35mm・白黒・ベンガル語)
APUR SANSAR (THE WORLD OF APU)

大学を卒業したオプーは、偶然から結婚することになった妻を深く愛していたが、出産で妻が亡くなり失意のどん底に。本作以降S・レイ映画の常連となる男優ショウミットロ・チャタルジ、ヒンディー語映画のトップ女優となるシャルミラ・タゴール両者のデビュー作。

'59 監督 サタジット・レイ 原 脚 ビティパシオン・ボンドパッダエ 撮影 シュプロト・ミットロ 音楽 バンシ・チャンドラグプタ 出演 ラヴィ・シャンカル 出演 ショウミットロ・チャタルジ、シャルミラ・タゴール、オロク・チョクロホルティ、ショボン・ムカルジ

5 10/11(木)3:00pm 10/31(水)7:00pm

家と世界 (139分・35mm・カラー・ベンガル語)
GHARE BAIRE (HOME AND THE WORLD)

ノーベル文学賞受賞者タゴールについてドキュメンタリーも撮っているS・レイは、タゴールの作品を3本映画化した。本作は、19世紀初頭のベンガルを舞台に、村の領主であり、進歩的な思想を持つ夫がありながら、独立運動の活動家に心惹かれていく女性を描く。

'84 監督 サタジット・レイ 原 脚 ラビンドラナート・タゴール 撮影 ショウメンドゥ・ラエ 出演 オショク・ボース 出演 ショウミットロ・チャタルジ、ヴィクター・バナナジ、シャテルカ・チャタルジ

6 10/11(木)7:00pm 10/30(火)3:00pm

見知らぬ人

(120分・35mm・カラー・ベンガル語)
AGANTUK (THE STRANGER)

92年4月に亡くなったS・レイの遺作。ある中流家庭に、妻の叔父であるという人物がやってくる。長年音信不通だった叔父は本当にこの人物なのか。疑う人々と叔父との対話を通して、物質文明の繁栄は人々に幸福をもたらしたか、という命題がレイの遺言のように語られる。

'91 監督 サタジット・レイ 原 脚 ボルン・ラハ 出演 オショク・ボース 出演 マムター・シャンカル、ウトボルドット、ドリティマン・チャタルジ

◆ インド映画名作選

7 10/12(金)3:00pm 11/6(火)7:00pm

ストリート・シンガー

(132分・35mm・白黒・ヒンディー語)
STREET SINGER

インド映画のトーキー元年＝1931年に誕生した映画会社ニュー・シアターズの代表作。放浪の歌手の男女が都会に出るが、女性の歌が認められたことから男性は身を引こうとする。歌手としても有名な主演男優K・L・サイガルの歌が素晴らしい。グル・ダットも『紙の花』(1959)の撮影所シーンで本作の引用をしている。

'38 監督 パニ・マジュムダール 原 脚 デリール・グプタ 出演 B・C・ボラール 出演 K・L・サイガル、カーナン・デーヴィー(バラー)、ジャグディッシュ・セーティー

8 10/12(金)7:00pm 11/14(水)3:00pm

コートニス博士の不滅の生涯

(122分・35mm・白黒・ヒンディー語)
DR. KOTNIS KI AMAR KAHANI
(THE JOURNEY OF DR. KOTNIS)

日中戦争時の1938年に、インドから中国に派遣された実在の医療使節団がモデル。5人の医師の1人コートニス博士は中国人女性と結婚したが、医療活動中に病没した。日本軍の侵略に反対する映画として、イギリス政府はもちろん、愛国者も共産主義者も支持した作品。

'46 監督 V・シャーンターラーム 出演 K・A・アッパース 出演 V・P・サーター 出演 V・アヴァドット 出演 パール・ガジュバル 出演 ヴェサント・デーサーイー 出演 ジャヤシュリー、デーワン・シャルール

9 10/13(土)11:00am 11/6(火)3:00pm 11/15(木)6:00pm

放浪者 (175分・35mm・白黒・ヒンディー語)
AWARA (THE VAGABOND / THE TRAMP)

「インド映画界のキング」と呼ばれた、製作者・監督・俳優R・カプールの代表作の一つ。夫に棄てられた貧しい女性を母とする青年が悪に手を染め、判事である父と法廷で対決する。娯楽性と共に社会性を持った作品として、中国や旧ソ連でも大人気を博した。

'51 監督 ラージ・カプール 出演 K・A・アッパース 出演 V・P・サーター 出演 ラドック・カルマカル 出演 M・R・アーチュレール 出演 シャンカル 出演 ジャイキサン 出演 ナルギス、プリットヴィーラージ・カプール

10 10/13(土)4:00pm 10/31(水)3:00pm 11/16(金)7:00pm

アーン (88分・35mm・カラー・ヒンディー語)
AAN

メーフアブ・カーンの名でも知られる大御所監督が作ったインド初のテクニカラー作品。日本で1954年に公開された88分の短縮版(オリジナルは161分)。王国の主権争いを軸に、王の妹に恋した正義漢の青年ジャイ(上映プリントの字幕ではジェイ)の活躍を描く。「アーン」は「誇り、信念」の意。

'52 監督 メーフアブ・カーン 出演 R・S・チョウドリー 出演 ファルダクーン・イーラーニ 出演 ノッシャド 出演 デリール・クマール、ニンミン、ナーディラー、ブレイムナート

11 10/14(日)11:00am 11/2(金)3:00pm 11/14(水)7:00pm

2エーカーの土地

(131分・35mm・白黒・ヒンディー語)
DO BIGHA ZAMIN (TWO ACRES OF LAND)

左翼系演劇集団IPTA(インド人民劇場)のメンバーを中心に作られた社会派作品。金貸しでもある地主に土地を取り上げられた農夫が、都会に出てきて必死に働き、借金を返そうとする。独立直後のインドが直面する問題を平易な語り口で描き、観客の共感呼んだ。

'53 監督 ビマル・ラーイ 出演 サリル・チョウドリー 出演 リンケーシュ・ムカルジー 出演 カマル・ボース 出演 ガネーシュ・ブサク 出演 バルラージ・サーハニ、ニルバー・ラーイ

12 10/14(日)4:00pm 11/1(木)3:00pm

渇き

(147分・35mm・白黒・ヒンディー語)
PYAASA
(THE THIRSTY ONE / ETERNAL THIRST)

G・ダットの代表作の一つ。貧しい詩人と婦孺が詩を介して心を通い合わせるが、俗悪な世間が詩人を追い詰めてゆく。挿入歌がいずれも印象的。主演女優W・ラフマーンはG・ダット作品のミュージックで、彼の自伝的作品『紙の花』(1959)等でも共演している。

'57 監督 グル・ダット 出演 アブラール・アルヴィー 出演 V・K・ムールティ 出演 ビレイン・ナーグ 出演 サチン・デーウ 出演 バルマン 出演 ヒーダー・ラフマーン、マーラー・シンハー、ラフマーン、ジョニー・ウォーカー

13 10/16(火)3:00pm 11/3(土)11:00am

雲のかげ星宿る

(127分・35mm・白黒・ベンガル語)
MEGHE DHAKA TARA
(THE CLOUD CAPPED STAR / HIDDEN STAR)

ベンガル地方では、時にはS・レイ以上に高く評価される映画作家R・ゴトク。分割された故郷ベンガルに対する深い愛は、東パキスタン(現バングラデシュ)からの難民一家を描く本作にも充満。一家の大黒柱となって働き、病に倒れるヒロインの叫びが耳に残る。

'60 監督 リッパイク・ゴトク 出演 ショクティボド・ラジグ 出演 ディネン・グプタ 出演 ロビ・チョテルジ 出演 ジョティンドロ・モイトロ 出演 シュプリア・チョウドリー、オニル・チョテルジ、ビジョン・ボッタチャルジョ

14 10/16(火)7:00pm 11/9(金)3:00pm

えび (136分・35mm・カラー・マラーラム語)
CHEMMEEN (THE SHRIMP)

インド南西端、ケーララ州の進歩主義作家T・S・ピッライによる同名長篇小説(日本語訳は新宿書房刊)の映画化。妻や娘の貞節が漁師たちの命を守り、豊漁を招く、という言い伝えを背景に、海に生きる男と女の悲しい運命を描く。

'65◎ラーム・カーリヤート◎タカリ・シヴァジャンカラ・ピッライ◎マカス・パートレー、U・ラージャゴパール◎サリル・チョウドリー◎サティヤン、シーラ、マドゥ、K・シュリーダラン・ナーヤル

15 10/17(水)3:00pm 11/1(木)7:00pm 11/10(土)4:00pm

夫になりたかった幽霊

(82分・35mm・カラー・ヒンディー語)
DUVIDHA (IN TWO MINDS)

インド西部ラージャスターン地方の民話を映画化。新妻に恋した幽霊が出稼ぎで不在の夫になりまして家に入り込み、子まで成してしまう。原題は「板挟み」で、2005年にS・R・カーン主演「なぜなぜ」としてリメイクされた。M・コウルはインド・ニューシネマの中心的監督。

'73◎マニ・コウル◎ヴィジャヤダン・データー◎ナヴローズ・コトラクター◎ラムザン・カーン、ハンムー・カーン◎ラヴィ・メーナン、ライサー・パダムスィー

16 10/17(水)7:00pm 10/28(日)4:00pm

熱風 (136分・35mm・カラー・ウルドゥ語)
GARM HAVA (HOT WINDS)

1947年のインド・パキスタン分離独立直後の古都アグラを舞台に、イスラム教徒の一家が、パキスタンに移住すべきか、インドに留まらざるべきか悩む姿を描く。監督のM・S・サティユーはIPTAの影響を受けた舞台演出家でもあり、脚本家のS・ザイディーは妻である。

'75◎M・S・サティユー◎カウフィー・アーズミー◎シャマー・ザイディー◎イシャーン・アーリヤ◎ウスタード・バハドゥル・カーン◎バルラージ・サーハニ、ディーナナート・ズッチ、バーダル・ペーガム、ギター

17 10/18(木)2:00pm 10/26(金)6:00pm 11/10(土)11:00am

炎 (198分・35mm・カラー・ヒンディー語)
SHOLAY (FLAMES OF THE SUN)

『荒野の七人』(1960)の翻案で、盗賊に家族を殺された村長が流れる2人を雇い復讐する。大スター5人の豪華顔合わせ、盗賊の首領役A・カーンの熟演等が評判を呼び、数年間ロングランの大ヒットに。マルチスタ一映画ブームの原点で、当初は70mmで公開。

'75◎ラメッシュ・シッピー◎サリム・ジャヴェド◎ドワールカ・ディヴェチャー◎ラフル・デーウ◎バルマン◎アマタープ・パッチャン、ダルメンドル、サンジーウ・クマール、ヘマー・マリーニ、ジャヤー・バドゥリ、アムジヤド・カーン

18 10/18(木)7:00pm 11/13(火)3:00pm

ミュージカル女優

(143分・35mm・カラー・ヒンディー語)
BHUMIKA (THE ROLE)

インド・ニューシネマの旗手S・ベネガル監督作品。ボンベイ(現ムンバイ)の映画界で1940~60年代に活躍した女優ハンサー・ワードカルの自伝に基づく。男性運歴を重ねながら女優が自分のアイデンティティを探していく。往時の映画界の様子がリアルに描かれる。

'76◎シャーム・ベネガル◎ギリーシュ・カルナド、サッティヤデーウ◎ドゥーペ◎ゴヴィンド・ニハラーニ◎ヴァンラージ◎バーティヤー◎スミター◎バーティール、アモル・パレーカル、ナシールッディーン・シャー

19 10/19(金)3:00pm 11/13(火)7:00pm

苦いひとくち

(92分・35mm・白黒・ベンガル語)
NEEM ANNAPURNA (BITTER MORSEL)

現在も精力的に芸術映画を撮り続けるB・ダスグプタ監督の第2作。カルカッタ(現コルカタ)のスラムに暮らす教養ある一家が飢えに苦しみ、ついには隣人の米に手を出してしまう。貧しさゆえに本性をむき出しにせざるを得なかった人間を描く衝撃作。

'79◎ブッダデーブ・ダスグプタ◎モルクマル・モジュムダル◎モルク・ナエク◎デバシシュ・ダスグプタ◎モニディバ・ラエ、シュニム・ムコパダエ

20 10/19(金)7:00pm 11/15(木)3:00pm

魔法使いのおじさん

(89分・35mm・カラー・マラーラム語)
KUMMATTY (THE BOGEYMAN)

映像詩とも言うべき作品の数々を残して1991年に亡くなった、ケーララ州の映画作家G・アラヴィンダン。魔法使いのおじさんと小学生たちの交流を描く本作では、ケーララの美しい自然が画面を彩っている。「クンマッティ」の歌を始め、劇中の歌の数々が耳に残る。

'79◎G・アラヴィンダン◎パニカル◎シャージ◎ナンブーディリ◎カーバラム・ナーラーヤナ◎ラームニ、マスタート・アショーカン、ピラーシニ

21 10/20(土)11:00am 11/2(金)7:00pm 11/7(水)3:00pm

踊り子 (145分・35mm・カラー・ヒンディー語)

UMRAO JAAN

インド大反乱(セポイの反乱)が起きた1850年代のラクナウで、日本の芸妓にあたる踊り子ウマロー・オ・ジャーンが辿る数奇な運命の物語。ヒロインを演じた人気女優レーカーの美しさに目を奪われる。2006年にアイシュワリヤ・ラーイ主演でリメイクされた。

'81◎ムザッファル・アリー◎ミルザー・ハディー・ルスワー◎シャマー・ザイディー、ジャヴェド◎ブラヴィーン・パット◎バンシ・チャンドラ◎グプタ◎カイヤム◎レーカー、ファールク・シェーク、ナシールッディーン・シャー、ラージ・パッパル

22 10/20(土)4:00pm 11/8(木)3:00pm

ねずみとり

(121分・35mm・カラー・マラーラム語)
ELIPPATHAYAM (THE RAT TRAP)

A・ゴーパーラクリシュナン監督は、ケーララ州の仮面舞踊劇カタカリを継承する家に育ち、演劇界でも活躍。お屋敷の当主なのに、何かにつけ上の妹に依存する男が、彼女の不在で精神に異常をきたす。本作も舞台劇を思わせる作りになっている。

'81◎アドゥル・ゴーパーラクリシュナン◎ラヴィ・ヴェルマ◎シヴァン◎カラムナ、シャーラダ、ジャラジャ、ラージャム・K・ナヤル

23 10/21(日)11:00am 11/9(金)7:00pm

お水よお水 (143分・35mm・カラー・タミル語)

THANNEER THANNEER (WATER WATER)

『ムト 踊るマハラジャ』(1995)の冒頭にも顔写真が出るK・バラチャンドルは、社会的な視点を持つ娯楽作を作る監督として有名。本作は、水不足の村の窮状を救おうとするよ者の男と、彼に協力する女性たちの活動を通して、政治を考えさせる作品となっている。

'81◎K・バラチャンドル◎コマル・スワミナタン◎B・S・ロクナット◎M・S・ヴィシュワナタン◎サリター、グハン、R・K・ラーマン

24 10/21(日)4:00pm 11/7(水)7:00pm

三日月 (144分・35mm・カラー・タミル語)

MOONRAAM PIRAI (CRESCENT MOON)

交通事故のショックで記憶を失い、幼児化した娘を引き取って面倒を見る青年教師。いつしか彼の気持ちには愛情に変わるが…。タミル語映画のトップ女優を使った、見応えある娯楽作。B・マヘンドラ監督はカメラマンとしても有名で、マニラトナム監督のデビュー作の撮影も担当。

'82◎パール・マヘンドラ◎イライヤラジャー◎カマラハサン、シュリーデーヴィ

25 10/23(火)3:00pm 11/3(土)4:00pm

パニおばさん

(108分・35mm・カラー・カンナダ語)
PHANIYAMMA

19世紀後半の南インドを舞台に、幼くて未亡人となった女性の一生を描く。当時は幼児婚がごく普通に行われ、夫が亡くなると妻である少女は剃髪し、白い衣裳をまとう一切の楽しみから遠ざけられた。女性監督P・カーラントが実在の人物をモデルに映画化した。

'82◎プレマ・カーラント◎M・K・インディラ◎マドゥ・アンバット◎K・S・シュリダラ◎B・V・カーラント◎L・V・シャラダ◎ラーオ、プラティバ・カーラヴァリ、アルチャナー・ラーオ

26 10/23(火)7:00pm 11/11(日)11:00am

思い出の中から

(126分・35mm・白黒・マラーティー語)
SMRITI CHITRE (MEMORY EPISODES)

19世紀末の西インドに実在した女性の生き方を通して、宗教問題、カースト問題を描く。11歳で教育者の夫に嫁いだ女性が、夫にふさわしい人間になろうと努力するうちに目を開かれていく。V・メヘターは元々は舞台女優兼脚本家で、芸術映画で女優としても活躍。

'83◎ヴィジャヤー・メヘター◎マンゲシュ・クルカルニ◎R・C・マバクシ◎モーハン◎スハース・ジョーシー、パッラヴィ◎パーティール、ラヴィンドラ・マンカニ、シリッシュ・ジョーシー

27 10/24(水)3:00pm 11/8(木)7:00pm

渡河 (130分・35mm・カラー・ヒンディー語)

PAAR (THE CROSSING)

B・ダスグプタ監督と並び、ベンガル語芸術映画を牽引するG・ゴース監督作品。カースト差別で村を追われ、金を稼ぐため大河を横切って豚の群れを渡すという難事に挑む夫婦を描く。G・ゴース監督初のヒンディー語作品で、ヴェネチア国際映画祭でN・シャーが主演男優賞を受賞。

'84◎G・ゴース◎パルター・パナルジ◎ナシールッディーン・シャー、シャバーナ・アーズミー、オム・プリー

28 10/24(水)7:00pm 11/4(日)11:00am

チダムバラムの愛

(103分・35mm・カラー・マラーラム語)
CHIDAMBARAM

『魔法使いのおじさん』のG・アラヴィンダン監督作品。同監督作品の常連ゴビーが牧場の監督者役で出演。有名な寺院のある町チダムバラムからやってきて牧童の妻となる女性に惹かれていく中年男の心理を描き出す。S・パーティールは本作公開の翌年に急死した。

'85◎G・アラヴィンダン◎C・U・スリーラーマン◎シャージ◎デーヴァラジ◎ゴービ、シュリーニヴァーサン、スミター◎パーティール

29 10/25(木)3:00pm 11/4(日)4:00pm

第一の敬意 (163分・35mm・カラー・タミル語)

MUDHAL MARIYADHAI (PRIME HONOUR)

村の実力者がよそ者の女性との間にあらぬ噂を立てられるが、彼女の真心に触れその真実の愛を知る。バラディヤージャーはタミル語映画の人気監督の一人。ラジニカント主演作でもお馴染みの大御所俳優S・ガネーサンが誠実な初老の男を好演、ヒット作となった。

'85◎バラディヤージャー◎R・セルヴァラジ◎B・カンナ◎イライヤラジャー◎シヴァージ◎ガネーサン、ラーダー、ディバン、ランジャニ

30 10/25(木)7:00pm 11/16(金)3:00pm

ゴアの恋歌

(141分・35mm・カラー・ヒンディー語/英語)
TRIKAL (PAST, PRESENT, FUTURE)

『ミュージカル女優』のS・ベネガル監督作品。ポルトガル領だったゴアは61年にインドにより解放されたが、その直前ある旧家に集まった人々の人間模様を描く。ポルトガル文化の香りが魅力的。人気ポップス歌手レモ・フェルナンデスとアリーシャ・チナーイーも出演。

'85◎シャーム・ベネガル◎アショク・メヘター◎ニティヤ◎ライ◎ヴァンラージ◎バーティヤー◎リラー・ナーイ◎、ニナー◎グプタ、ナシールッディーン・シャー

31 10/26(金)3:00pm 11/11(日)4:00pm

青春の終着点

(132分・35mm・カラー・ヒンディー語)
YEH WHO MANZIL TO NAHIN (THIS IS NOT OUR DESTINATION)

ムンバイの裏の顔を描く作品を作り続けているS・ミシュラ監督のデビュー作。久しぶりに故郷に戻った3人の老人が、眼前で起こる労働争議によって自分たちの大学時代を思い出す。当時大学生として反英独立闘争に身を投じていた彼らには、苦い思い出があった。

'86◎ミシュラ◎ステイラー◎ミシュラ◎ウーリ◎ボース◎ラビーナ◎ダース◎ラジャット◎ドゥラキヤー◎マヌーハル◎シン、パンカジ◎カプール、ナシールッディーン・シャー

月	火	水	木	金	土	日
10月	1 大地のうた 3:00pm (125分)	3 遠い道 他 3:00pm (計147分)	5 家と世界 3:00pm (139分)	7 ストリート・シンガー 3:00pm (132分)	9 放浪者 11:00am (175分)	11 2エーカーの土地 11:00am (131分)
	2 大河のうた 7:00pm (109分)	4 大樹のうた 7:00pm (106分)	6 見知らぬ人 7:00pm (120分)	8 コートニス博士の不滅の生涯 7:00pm (122分)	10 アーン 4:00pm (88分)	12 湯き 4:00pm (147分)
	13 雲のかげ星宿る 3:00pm (127分)	15 夫になりたかった幽霊 3:00pm (82分)	17 炎 2:00pm (198分)	19 苦いひとくち 3:00pm (92分)	21 踊り子 11:00am (145分)	23 お水やお水 11:00am (143分)
	14 えび 7:00pm (136分)	16 熱風 7:00pm (136分)	18 ミュージカル女優 7:00pm (143分)	20 魔法使いのおじいさん 7:00pm (89分)	22 ねずみとり 4:00pm (121分)	24 三日月 4:00pm (144分)
	25 バニおばさん 3:00pm (108分)	27 渡河 3:00pm (130分)	29 第一の敬意 3:00pm (163分)	31 青春の終着点 3:00pm (132分)	1 大地のうた 11:00am (125分)	4 大樹のうた 11:00am (106分)
	26 思い出の中から 7:00pm (126分)	28 チダムパラムの愛 7:00pm (103分)	30 ゴアの恋歌 7:00pm (141分)	17 炎 6:00pm (198分)	2 大河のうた 4:00pm (109分)	16 熱風 4:00pm (136分)
	6 見知らぬ人 3:00pm (120分)	10 アーン 3:00pm (88分)	12 湯き 3:00pm (147分)	11 2エーカーの土地 3:00pm (131分)	13 雲のかげ星宿る 11:00am (127分)	28 チダムパラムの愛 11:00am (103分)
	3 遠い道 他 7:00pm (計147分)	5 家と世界 7:00pm (139分)	15 夫になりたかった幽霊 7:00pm (82分)	21 踊り子 7:00pm (145分)	25 バニおばさん 4:00pm (108分)	29 第一の敬意 4:00pm (163分)
	9 放浪者 3:00pm (175分)	21 踊り子 3:00pm (145分)	22 ねずみとり 3:00pm (121分)	14 えび 3:00pm (136分)	17 炎 11:00am (198分)	26 思い出の中から 11:00am (126分)
	7 ストリート・シンガー 7:00pm (132分)	24 三日月 7:00pm (144分)	27 渡河 7:00pm (130分)	23 お水やお水 7:00pm (143分)	15 夫になりたかった幽霊 4:00pm (82分)	31 青春の終着点 4:00pm (132分)
	18 ミュージカル女優 3:00pm (143分)	8 コートニス博士の不滅の生涯 3:00pm (122分)	20 魔法使いのおじいさん 3:00pm (89分)	30 ゴアの恋歌 3:00pm (141分)	第8回東京フィルメックス 山本薩夫監督特集 ザッツ〈社会派〉エンタテインメント (~11月25日)	
	19 苦いひとくち 7:00pm (92分)	11 2エーカーの土地 7:00pm (131分)	9 放浪者 6:00pm (175分)	10 アーン 7:00pm (88分)		

■本特集は土・日曜日の開映時間が11:00amと4:00pmとなります。
■作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。

展示室(7階)

【企画展】

没後30年記念 チャップリンの日本
チャップリン秘書・高野虎市遺品展

Chaplin Meets Japan

1916年から1934年まで18年間にわたりチャールズ・チャップリン(1889-1977)の秘書を務めた高野虎市(1885-1971)。近年発掘された高野の遺品などを通して、喜劇王と日本の交流、日本におけるチャップリン映画受容の歴史を振り返ります。

【常設展】

展覧会 映画遺産

一東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

フィルムセンターが開設から50年の間に収集してきたコレクションの中から特に珍しい初期の映画機械や映画人の遺品などを一堂に集めて展示する一方、過去に行われた映画の発見・復元の成果を紹介しながら、日本の映画保存運動の軌跡を振り返ります。

10月30日(金)~12月27日(木)

*月曜日および11月26日(月)~12月3日(月)は休室
開室時間=午前11時~午後6時30分(入場は午後6時まで)
料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/
大学生・シニア70円(40円)/高校生40円(20円)/
中学生以下・障害者(付添者は原則1名まで)は無料
*料金は常設の「展覧会 映画遺産」の入場料も含まれます。
*()内は20名以上の団体料金です。
*学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示下さい。
*フィルムセンターの企画上映をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

大ホール(2階)

第8回東京フィルメックス

山本薩夫監督特集

ザッツ〈社会派〉エンタテインメント

Special Program:
Yamamoto Satsuo Retrospective

11月17日(金)~11月25日(木)

*11月19日(月)は休館

*詳細は東京フィルメックスのチラシまたはホームページ
(http://www.filmex.net/)をご覧ください。

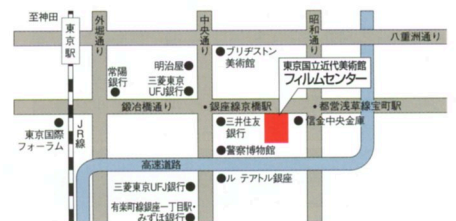
図書室カレンダー

赤字は休室日

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					3	4
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

図書室(4階)

開室=火曜日~土曜日(午後0時30分~午後6時30分)/入室
は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

http://www.momat.go.jp/

NFC携帯電話ホームページ:

http://www.momat.go.jp/nfc/k/

